

博物館 topics

サンシンの日関連特別企画

「開鐘の調べ」

歴史博物館所蔵三線「友寄開鐘」演奏会

那覇市歴史博物館には、現在三線の名器二丁が所蔵されています。二丁の三線は、3月4日の「サンシンの日」に合わせ、3月中は、尚家文書の湛水流工工四(一冊)と「野村流工工四(四冊)とともに毎年展示しています。

二丁のうち、一丁は「友寄開鐘」といい、かつては、首里の金城御殿(旧尚王家邸、元の県立博物館跡地)に所蔵されていたといわれています。「開鐘」とは、夜明けに突く鐘の音のことで、遠くまで響き渡る例えから真壁型の三線の名器に付けられた別称です。「友寄開鐘」は東風平の友寄村から、その音色が首里まで聞こえたという逸話が残っています。

もう一丁は「宮城の真壁」と呼ばれ、野村流の始祖 野村安趙の高弟松村真信の娘婿で、琉球古典音楽野村流松村統弦会の創始者である宮城



▲「友寄開鐘」(左)「宮城の真壁」(右)

「桃色地の衣裳」

期 3月6日(金)～4月1日(水)

国宝尚家衣裳 3月の特別展示

期 2月27日(金)～4月1日(水)

費 一般 300円

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示

日 3月8日(日)14時～15時 / 3月14日(土)14時～15時

場 那覇市歴史博物館展示室 (パレットくもじ4階)

※演奏日の13時30分～15時の間「入館料無料」

《三線・尚家本工工四》展示



▲「友寄開鐘」

未来のコミュニティにつなげる活動

「役所の片棒担いで！って言われたさあ」と笑顔で話す銘苅春雄さん。協働によるまちづくり推進協議会会長に就任した頃、周囲から言われたようですが、最近では「協働」が定着したのか、言われなくなったそうです(笑)。

平成20年に協働大使の委嘱を受けたあとも「協働によるまちづくり」や「大使の役割」とは何かと模索していたさなか東日本大震災が起こりました。「自治体だけに頼ることはできない。危機的な状況には地域の結びつきが必要」と話します。

これまで築いてきた信頼関係が互いを助け支えあう力になる、とあらためて実感。また、住民や民間の力を借りて課題を一緒に解決していく、それが「協働」なんだと活動するなかで体感したそうです。「協働にルールは無いが、協働大使の活動は将来へつなぐ「ミニミニ」を作っている」と、銘苅さんは未来を思い描き活動していると話します。

お問い合わせ

まちづくり協働推進課 ☎861・3846

だれもが安全
安心な那覇を近い未来に思い描くことが銘苅会長の原動力になっています。

同協議会は協働大使が集う地域分野ごとの「ゆんたく会」や認知症サポーター養成講座の開催など、大使の活動を様々な視点から支援しています。事業の成功の裏には大使のみなさんの活躍が力ぎとなったようです。

4月からは新都心銘苅庁舎をリニューアルして、「協働大使活動支援センター」と「NPO活動支援センター」を統合した、「なは市民活動支援センター」が設置され、自治会PTA・婦人会連合会やボランティア団体など様々な団体が入居します。大使のみなさんや色んな団体がつながることで、「協働によるまちづくり」が、那覇市全体に広がっていくと思います。



那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

城岳幼稚園シーサー展

城岳幼稚園の園児が作ったシーサーを展示いたします。園児たちの個性あふれる作品をぜひご覧ください。(主催：那覇市立城岳幼稚園)

日 2月25日(水)～3月8日(日) 場 3階 企画展示室 費 無料



4月3日はシーサーの日

シーサーは、魔よけや災難よけとして、屋敷の屋根や門柱に備え付けられ、そこに住む家族の健康や生活を見守ってきました。そのシーサーも、今では全国で認知されるようになり、沖縄のシンボルとして、海や空の玄関口、公園や広場、観光施設等あちらこちらに建立され、私たち市民・県民の生活を見守ってくれています。

そんなシーサーをやちむんシーサー発祥の地・壺屋から全国に向けて発信するイベントが毎年4月3日(シーサーの日)に開催されています。今年で14回目を迎えるシーサーの日のイベント、この機会に壺屋に遊びにきませんか？

くわしくは、市民の友4月号にて掲載予定です。お楽しみに!!



壺屋うふ(大)シーサー▶

壺屋焼物博物館

開館時間 10時～18時(入館は17時半まで) ☎862-3761
月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 FAX 862-3762

うちなーぐちや あじくーたー

【お問い合わせ】
那覇市文化協会 うちなーぐち部会
事務局 名嘉山秀信
☎09886111909



ロケ地：まちぐわ一案内所「ゆっくる」



今月のテーマ 浜下り

【説明文】
その昔、ある美しい姫君が魔物(蛇)の子を身ごもり、海水で身を清めたら元の体に戻りました。三月三日のことだったそうです。
現在は潮干狩りが定番ですが、サンゴワチャ(三日月祭り)と言って、女の子のため、ご馳走を持って浜下りし遊ぶ風習があります。

【例文】
祖母 チル小、明日や旧暦三月三日と。
孫娘 重箱なんかいい馳走詰めてい家族さーに海岸なんか行ちゅんど。
祖母 あんやいびーさ、っんみーたい。我友達ん連りてゆたさいびーがやー。
孫娘 いーしむんど。遊びぬ美らさや人衆めすなわいんでい言さ。
祖母 チル小、明日は旧暦の三月三日だよ。重箱にご馳走を詰めて家族で浜下り、三月遊びにいくよ。
孫娘 はい、お婆さん。私の友達も連れていっていいねえ？
祖母 ああいいよ。人が多いほど楽しいというさ。

司法書士が無料で相談に応じます。

- 相続、贈与と遺言
戦争で戸籍を失っていても、判決を得て相続登記できる場合があります。家裁の手続き、遺言書作成など、ご相談下さい。
- 成年後見
多数の後見人を務める司法書士が、実務をふまえて説明します。
- 差押・仮差押・仮処分
預金、給料、売掛金、財産など、押さえたい方へ。
- 日常生活の法的トラブル
商品の代金が払われない、貸したお金を返してくれない、敷金を返してもらえない、家賃を払ってくれないなど。
- 借金に関すること
- 不動産登記
- 会社の登記や企業法務

よへな司法書士事務所

〒900-0032 那覇市松山1-30-1 2F 営業時間：午前9:00～午後6:00(土日祝休み)
http://www.souzokuyuigon-okinawa.com

☎0120-309-157 ※相談には電話予約が必要です。

広告

